

ガムランワークショップ

ジャワのガムラン体験 ～五感で知る、アジアの青銅楽器の魅力～



九州国立博物館では、インドネシアのジャワのガムランを用いたワークショップを開催します。

ガムランは、大小さまざまな青銅のゴングや鍵盤楽器に、胡弓や木琴、笛や歌も加わり、それを太鼓がリードする大合奏音楽です。宮廷の儀礼や村の祭り、また、結婚式など人生の大事な節々にも欠かすことのできないものとして、そのたおやかな響きはジャワの人々の生活を常に彩っています。

実際にガムランの演奏を体験することで、楽器の造形の美しさ、その響きの豊かさを五感で受け取り、合奏の楽しさを味わってください。アジアの人々の考え方や長い歴史につちかわれた深い叡智を感じ取ることもできるかもしれません。ぜひ、ガムランのワークショップにご参加ください。

【第3回】10月27日（土）13：30～15：30

【場所】九州国立博物館 エントランスホール

■【第4回】11月10日（土）13：00～15：00

【場所】九州国立博物館 エントランスホール

【第5回】12月8日（土）13：30～15：30

【場所】九州国立博物館 ミュージウムホール

●参加費 無料

●定員 28名（定員を超えた方のみご参加できない旨のお断りの電話連絡をいたします。）

*床に座って演奏するので、楽な格好でお越しください。

第4回 『本願寺展 - 親鸞と仏教伝来の道 -』によせて

◎ワークショップ：13：00～14：20

◎ガムラン演奏ーアジアの祈りのかたち 14：30～15：00

インドネシアに、ヒンドゥー教とともに仏教が伝来したのは4～5世紀のこと。9世紀には、東南アジアの大乗仏教のシンボルとも言うべき壮大なボロブドゥール寺院が、ジャワ島において完成しました。

そのジャワ島で生まれたガムランは、仏教の精神性と深い関わり合いを持つ音楽です。そのゆたかな響きは宇宙的瞑想を誘い、アジアの祈りのかたちを示すものです。

演奏：サプトノ（ジャワ・ソロ王家ガムラン演奏家）

田村 史子（筑紫女学園大学准教授）

助演：須佐利子（筑紫女学園大学ガムラン部卒業生）

申し込み方法

申込者本人の①住所②氏名（ふりがな）
③連絡先④参加希望日を明記の上、はがき、又はFAXでお申し込みください。
※いただいた個人情報はワークショップ以外の目的には使用いたしません。

ガムランワークショップ 参加申込用紙

住所	〒	TEL	
氏名	いずれかに○をしてください。 第3回・第4回・第5回		

【申し込み・問い合わせ】九州国立博物館 交流課 〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2
(申し込み先) FAX：092-929-3980 (問い合わせ先) TEL：092-929-3294 HP: <http://www.kyuhaku.jp>